

東北3県の現在(いま)と、私たちが創る未来～東日本大震災から11年を経て～

消費・安全局食品安全政策課

開催日：令和4年3月7日(月)～3月11日(金)＜5日間＞開催

来場者：603人

概要：震災発生から11年を経て、東北3県(岩手県・宮城県・福島県)の復興の現状及び活力にあふれる農林水産業の取組や魅力ある名産品などについて紹介しました。具体的には、①パネル・サンプルの展示(東北3県の今の現状と復興を遂げた取組を紹介したパネル、名産品のサンプルの展示)、②動画放映(農林水産業の取組に係る動画による紹介)、③展示に連動した販売(被災地で生産された特産物の販売)を行いました。



魅力ある東北3県(上から岩手県・宮城県・福島県)の名産品を展示



展示の様子



岩手県、宮城県、福島県における復興に向けた活力あふれる取組に係る動画を大型モニターで放映



福島県相馬農業高等学校の生徒達による、復興に向けた取組をパネルで紹介



岩手県産のさば缶、宮城県産のいちご、福島県産のあんぼ柿などの様々な特産物を農林生協が販売